

“森林(やま)とのお見合い”に参加しました！

平成 29 年 10 月 29 日（日）、“森林(やま)とのお見合い”が開催され、子ども 4 名を含め 9 名の方が参加されました。

“森林(やま)とのお見合い”は今年で 16 回目となるイベントです。新川森林組合が中心となり、森林で木が伐採されてから家として使われるまでの工程を、半日かけて見学するものです。今年は住宅展示場を見学してから製材工場、伐採現場を巡るコースでした。魚津市街から森林までバスで移動することになるため、バスの中では当センターの職員が森林についてのお話をさせていただきました。

最初に見学したのはオダニホーム株式会社の住宅展示場で、木材をふんだんに使った 2 階建ての住宅です。薪ストーブが焚かれた室内はじんわりと暖かく、木造住宅の過ごしやすさが体感できました。オダニホーム株式会社の尾谷社長が木の家について説明され、続いて有限会社尾谷林業の尾谷社長が素材としての木について説明されました。

次に新川森林組合の木材加工場で製材の見学をしました。丸太から板を製材し、その板を加工し家の部材となるまでを見学しました。合わせて、パソコンで設定した図柄をレーザー加工機で作るところを見学しました。

樹皮を剥いだスギ丸太を大きな機械が轟音で切断し、板になったものがパタンと倒れる様子はすごい迫力でした。レーザー加工機は細かな図柄が高速で刻まれていく様子を間近で見ることができ、小さな子どもまで機械に見入っていました。

最後に森林内でスギを高性能林業機械(ハーベスタ)で伐採する様子を見学しました。新川森林組合の佐竹課長からの説明の後、スギが 1 本伐採されました。大きな木を伐採する様子は、危険のない距離まで離れても十分な迫力で、木が倒れる瞬間を皆息を詰めて見守りました。

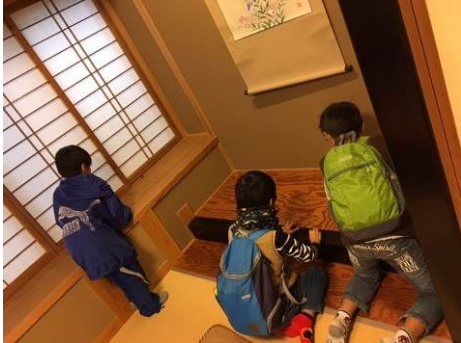
伐採が終わってから、有限会社尾谷林業の尾谷社長が木の小口を見せて木取りの説明をし、伐採から材として使われるまでのおさらいをしました。

親子連れの参加者がほとんどで、小学校低学年の子には少し難しいお話もあったかもしれませんが、見て触れて感じたことが記憶に残るイベントとなったと思います。

伐採の様子に見入っていた子どもが、「木をもう 1 本切ってほしい。むしろ、自分が切りたい!!」と目を輝かせていたのが印象的でした。



参加者の皆様



木の家をぺたぺた



住宅展示場内での説明



新川森林組合の木材加工場の製材機



森林内での伐採の様子